



第 58 号

編集・発行

信州大学附属図書館

繊維学部図書館

平成 20 年 3 月 28 日

CONTENTS

ユスリカいろいろ	応用生物学系 平林 公男	(2)
図書館アンケート調査について(報告)		(5)
「本学部教員著書コーナー」を新設しました		(14)
2008 年購読外国雑誌(冊子体)一覧		(18)
図書館通信	告知板	(20)
	図書館日誌	(21)
編集後記		(21)

Library(電子版)はインターネットで提供しています。

URLは <http://www-lib.shinshu-u.ac.jp/seni/online.html> です。

～ ユスリカいろいろ ～

繊維学部 応用生物学系 生物資源・環境科学課程 平林 公男

これまで私とあまり縁の無かった「オレンジページ」という雑誌の編集長から、誌上で読者からの素朴な疑問に答えて欲しいという依頼が昨年あった。なんでも「あなたに代わって見聞帖」というコーナーがあり、毎日の生活の中で、ふと浮かんだ素朴な疑問に答えるのだという。衣食住のことはもちろん、動物、植物、スポーツ、語源など何でもよいという。そこへ、島根県の読者の方から「蚊は何のために大群で蚊柱をつくるの?」との疑問が寄せられたというのである。普通、生活している中で、俳句でもやらない限りは、蚊が蚊柱を立てることなど気がつかない。世の中には変わった人もいるものだと思います、ちょっぴり嬉しくなって、仲間意識で快く取材に応じた。

数週間後、「旬 パワフルなすレシピ 油と合わせておいしさ引き出す!」の号に掲載されたという連絡が編集長から来て、書店に見に行ったら、ならべてあるコーナーがコーナーだけに、雑誌を手にする勇気が出なかった。家内に1冊購入してもらい、現在、私の本棚の上に、大変違和感のある雑誌が1冊載っている。

参考文献 「旬 パワフルなすレシピ」 オレンジページ, P137, 7/17 (2007)

全国各地から「ユスリカ」と言う虫について、私の所へ多くの問い合わせをいただきます。よくある質問を以下にまとめてみました。御覧になっていただき、「ユスリカ」について知っていただくと、「毎日の生活も、より楽しいものになるのではないのでしょうか?」と勝手に思い、列挙させていただきました。さらに詳しく知りたい方は、信大校内を歩いている私を捕まえて戴き、あれやこれやとお尋ね下さい。

Q．蚊柱って何のために大群になっているの?

A．夕方、日が沈みかけた頃、水田のあぜ道や川べりで小さな虫が群がっているのに気がつかれたことがあると思います。ユスリカやカの成虫がつくるこうした群飛を蚊柱といいます。

蚊柱をつくっているのは雄の成虫だけです。雄の成虫がなぜこのような群飛を行うかというと、雌と交尾をして、子孫を残すためです(配偶行動といいます)。ヒトの場合には、「言葉」をコミュニケーションの手段として用いていますが、ユスリカやカは、「羽音」をコミュニケーションの手段として用いています。多くの雄の成虫が集まることにより、雄の羽音が鳴り響きます。雌は水辺の植物などにとまっていますので、それに聞こえるように羽音を「ブンブン」させます。水辺には、多くの種類のユスリカがいますが、種ごとに聞こえる音が違いますので、けして違った種の雄がつくっている蚊柱に雌がとんで

いくことはありません。仮に、近くで同時に違った種類の蚊柱がたっている、聞こえる音が違いますので、雌はけして間違えることはありません。同じ種の雄がつくっている蚊柱に、同じ種の雌が飛び込んで交尾をします（生殖隔離といいます）。蚊柱に入った雌の羽音を雄が聞きつけて、いっせいに雌に飛びかかりますが交尾できるのは1匹だけで、ペアーになったものは蚊柱から脱落し、地上で交尾します。

Q．蚊柱はどれくらいの数の虫が集まっているの？ どれくらいの大きさ（高さ）になるの？ どれくらいの時間、蚊柱になっているの？

A．これは種類によって異なります。また、蚊柱の出来た時間帯によっても異なります。蚊柱が出来始めるときには、数匹で群飛をし、だんだんと多くの雄が集まり、どんどん大きくなっていき、また時間と共に、小さくなっていき、最終的には消えてしまいます。種類によっても違いますが、この間30分から1時間ぐらいでしょうか。ですから答えとしては数匹から数万匹ということになりますか。蚊柱も成長しますので生きています。大きさも種によって異なりますし、時間帯によっても異なります。数十cmから数十メートルです。オオユスリカやアカムシユスリカのつくる蚊柱は数十メートルで大きなものです。

Q．蚊柱はどんな場所、どんな気象条件のときに発生しやすいの？

A．場所は水辺です。幼虫は水の中にいますし、蛹から羽化したばかりの成虫はしばらく水辺の草むらで休んでいます。水辺で羽を乾かさないと飛べません。したがって、水辺周辺で蚊柱は良く立ちます。夕方や朝方の風の強くない時間帯、気象条件が安定している時間帯に立ちます。雨は降っていても蚊柱は立ちます。強風であると立ちません。

Q．ユスリカとはどんな蚊なの？ 大きさや種類数は？ 日本以外にもいるの？

A．ユスリカはカに似た昆虫ですが、ヒトを刺したり血を吸ったりすることはありません。口器が退化し、成虫になっても飲まず食わずです。したがって成虫の寿命は長くて1週間程度です。いろいろな大きさのものがいます。日本には約1000種類のユスリカがいます。普通の河や湖の周辺でも、100種類ぐらいは普通にいます。もちろん日本以外にも同じように水辺や湿った陸地にもユスリカ類は沢山います。およそ10000種が世界中で記録されています。

Q．人間の頭についてくるのはなぜなの？ 自転車に乗っていてもなかなか振り切れないけど、どれくらいのスピードなら可能なの？

A．蚊柱をつくる時に雄成虫は、周辺と違った目印（スワーミング・マーカールといいます）を探して、その目印の上に蚊柱をつくれます。夕方、白い車の上に蚊柱が、とか、道路上のヒトの頭の上に蚊柱が、というのも、周囲と違って異なったコントラストが目印になっているからです。

ユスリカの成虫の飛翔能力は比較的他の昆虫類に比べて無く、多くの場合、風で吹き飛ばされて移動していることが多い様です。最も大きなオオユスリカでも風速6 m以上で吹き飛ばされてしまいます。自転車で着いてくるのは自転車周辺の気流と関係があるかも知れませんが、ハチのように自主的について来る（攻撃してくる）と言うことはあり得ません。

Q．実際にどのような害があるの？

A．有機汚濁の進んだ水域からは、ユスリカ類の成虫が大量に発生し、不快昆虫として嫌われます。とにかく多くの成虫が光に誘引されて飛んできますので、大変なことになります。

また、多くの成虫が死んで乾燥し、空気中に成虫の体の破片が微粒子となって飛んでいると、それを花粉と同じように吸い込み、アレルギー反応を起こすヒトもいます。ユスリカの発生時期と花粉の飛ぶ時期が一致していますので、これまでわからなかったのですが、最近のデータでは花粉よりユスリカの方がアレルギーとして重要であることもわかってきました。

Q．吉兆のしるしと考えられ、慶雲と呼ばれていたそうだけど、どんな吉兆があったの？

A．いろいろな迷信があるようです。ヒトは自分のおかれた状況をすぐに自然現象と結びつけ、運がいいとか悪いとかいいます。科学的には何の根拠もありませんし、説明も付けられません。梅谷先生が1994年に書かれたものによりますと、「蚊柱は中国で慶雲と呼ばれ、昔からめでたいことの前兆とされてきた」とあります。また、「大宝3年5月に奈良の藤原京の上に巨大な蚊柱が現れ、これはめでたいということで年号を「慶雲」と改めた」と、書かれています。

繊維学部図書館の利用等に関するアンケート調査について（報告）

繊維学部図書館長

1 はじめに

この度のアンケート調査は、繊維学部図書館の充実と、サービス向上を図るための基礎資料を得ることを目的として、学部生、院生等を対象に実施しました。

多忙の中、回答いただいた学生の皆さんに深く感謝申し上げます。繊維学部の教職員は、寄せられた様々な意見・要望等を参考にして、今後とも資料充実とサービス向上に向け、一層努力する所存です。

2 実施概要

調査期間：平成19年10月10日(水)～11月16日(金)

調査対象：繊維学部の学部生、大学院生、聴講生、研究生等

学生総数：1,474名

調査方法：図書委員によるアンケート用紙配付・回収

3 回答数および回答率

951名（64%）

今回のアンケート用紙の配布・回収を図書委員の教員が行ったこともあって、回答率は64%という極めて高いものでした。（2,3年生には講義の前に配布し講義後に回収、4年生、院生、聴講生、研究生等には研究室ごとに配布し回収）

4 実施結果の要約

学部図書館の役割の一つは、学部生に対して学習・研究に必要な資料を収集・組織・保管し、情報を提供するとともに、学習・研究活動を支援していくことです。今回のアンケートで繊維学部学生もまた、それを第一に求めていることがはっきりしました。

回答をみますと、図書館を利用する理由として、2年～3年生では「課題レポート作成のための利用」「前期・後期試験のための勉強」が6割以上、4年～院生等では「研究のための資料を調べる」「研究のためのDB検索、EJ検索」「研究のための専門雑誌の調査」が6割以上となっています。このように、2年～3年生と4年～院生等では、図書館の利用目的が違うことが明確になり、4年～院生等では研究室でのDB検索、EJ検索の利用がとりわけ多いことが分かりました。

充実すべき資料の中では、「化学」「繊維工学」「化学工学」「生物学」などの専門書の充実を求める意見が多くを占めていますが、「文学」「心理学」「芸術」分野についても充実を求める意見が少なくありませんでした。

図書館のサービス・施設については、平日の開館時間の延長を望む回答が多く、日・休日の開館の要望もありました。その他、照明・空調などの設備についての要望も少なくありません。

今回寄せられた貴重なご意見は、今後の資料充実とサービスの向上に役立てさせていただきます。

図書館アンケート報告

1. 所属等について

問1 あなたの所属についておたずねします。

2年	3年	4年	修1	修2	博1	博2	博3	研究生	聴講生	ポスドク	その他	計
251	230	197	134	106	7	7	10	3	0	1	5	951

留学生 28名を含む

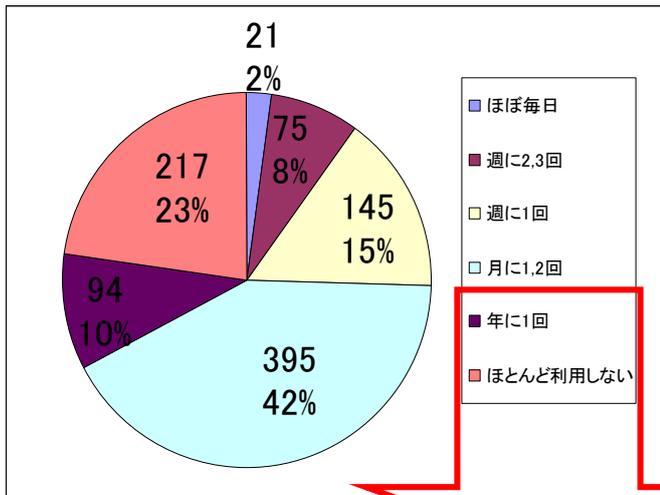
2年生～3年生 481名
4年生～院生他 470名 計 951名

2. 図書館の利用について

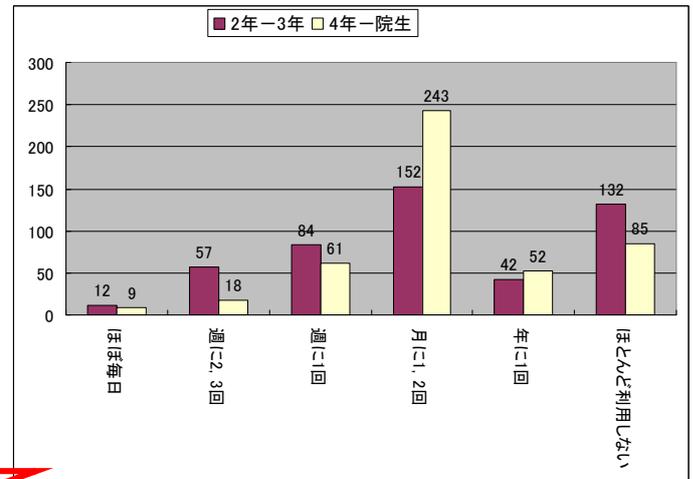
利用頻度

問2 あなたは前期、後期平均してどの位の頻度で図書館を利用していますか。

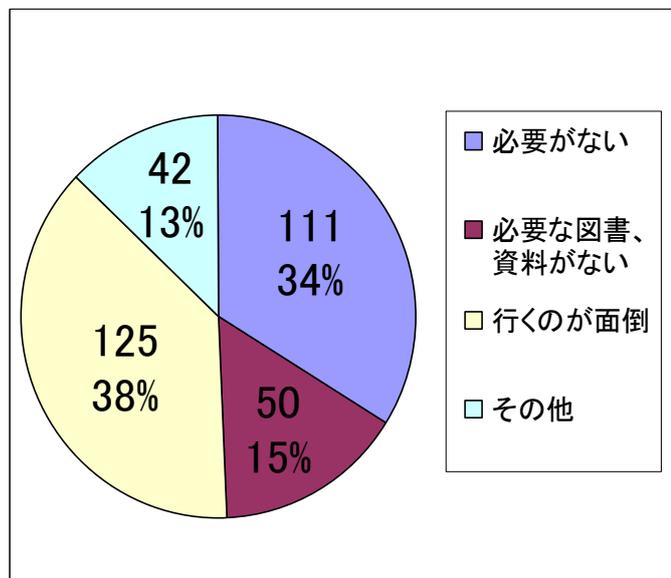
全体



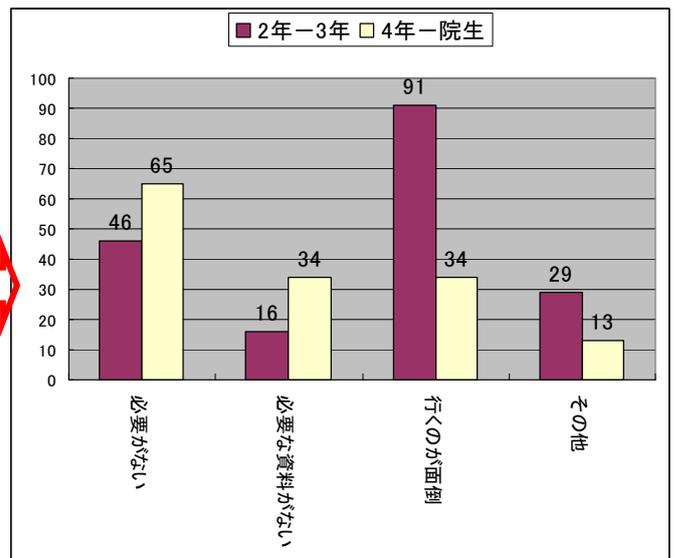
2年生～3年生、4年生～院生他 に分けた場合



年に1回、ほとんど利用しない理由



2年生～3年生、4年生～院生他 に分けた場合

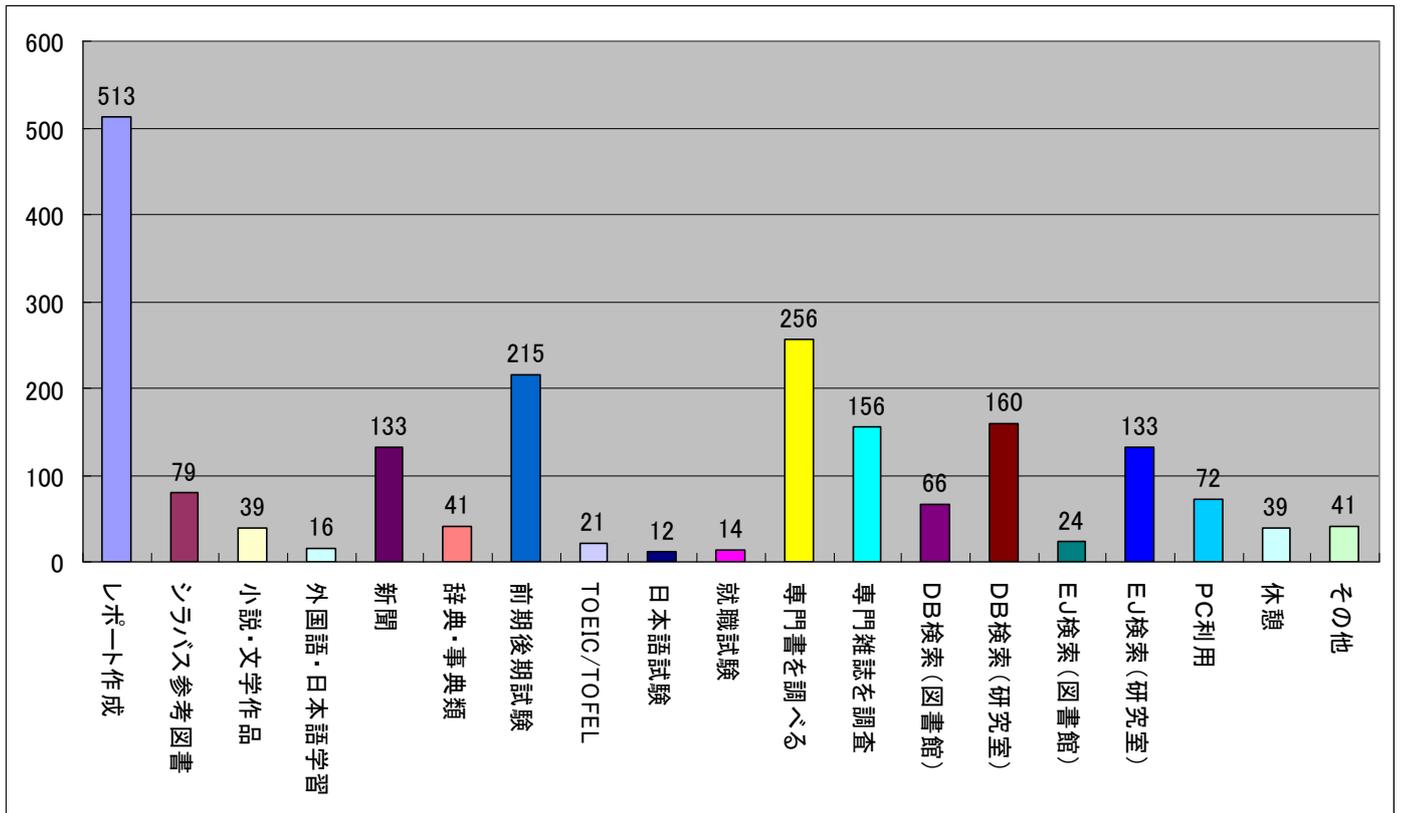


2. 図書館の利用について

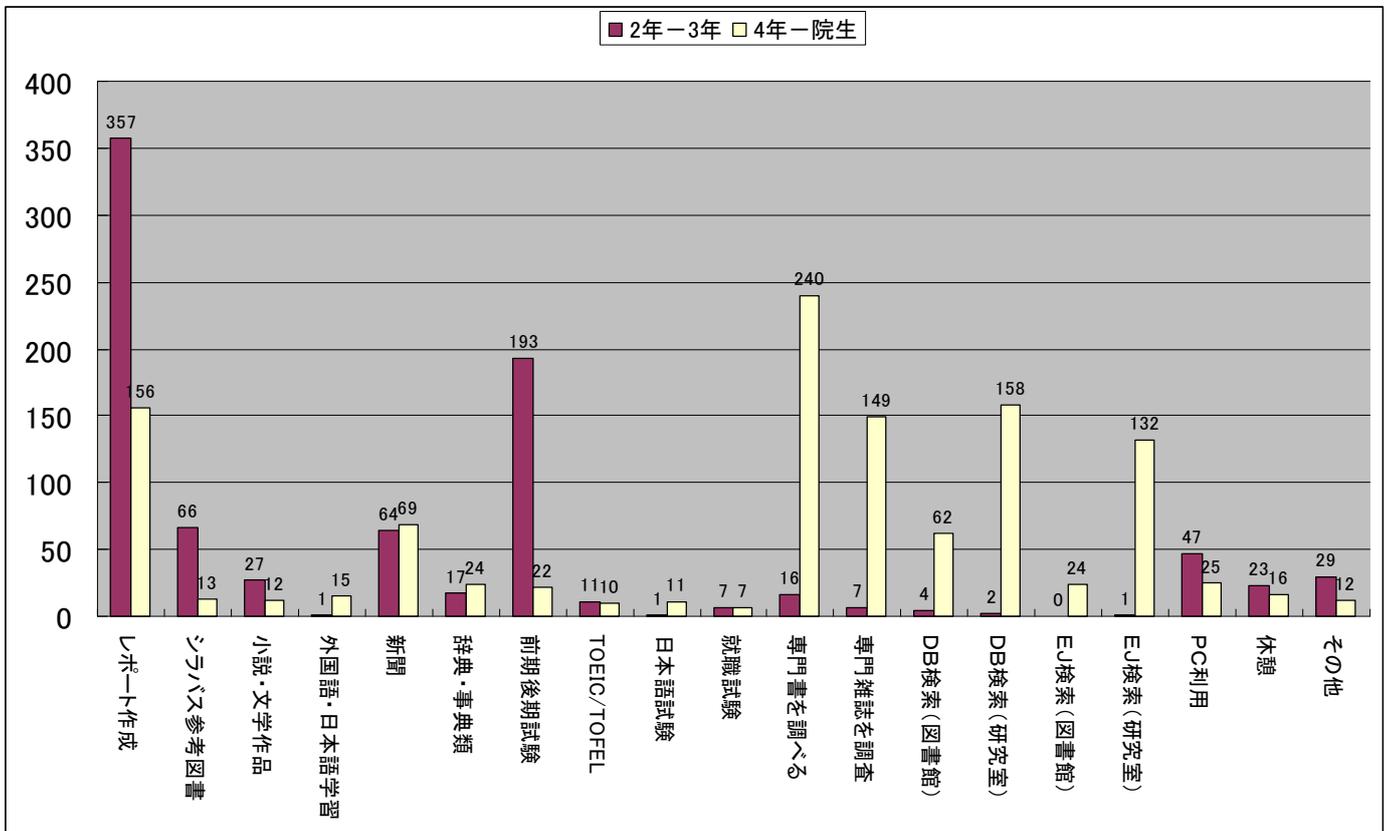
利用目的

問3 図書館を利用する主な目的はなんですか。(複数回答可)

全体



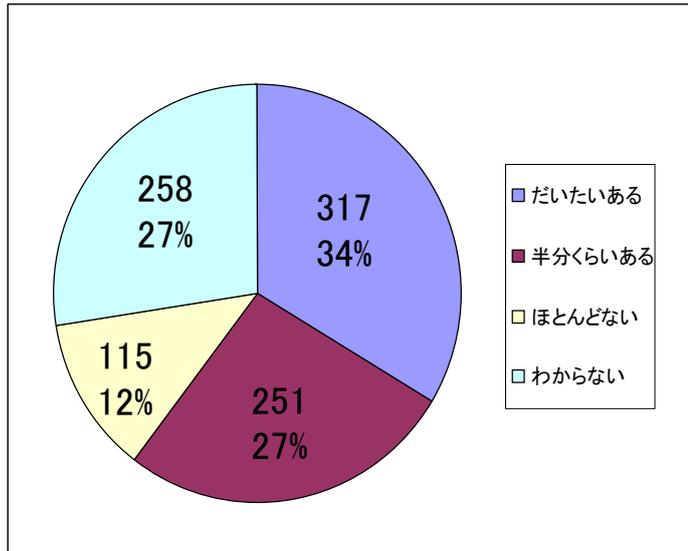
2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合



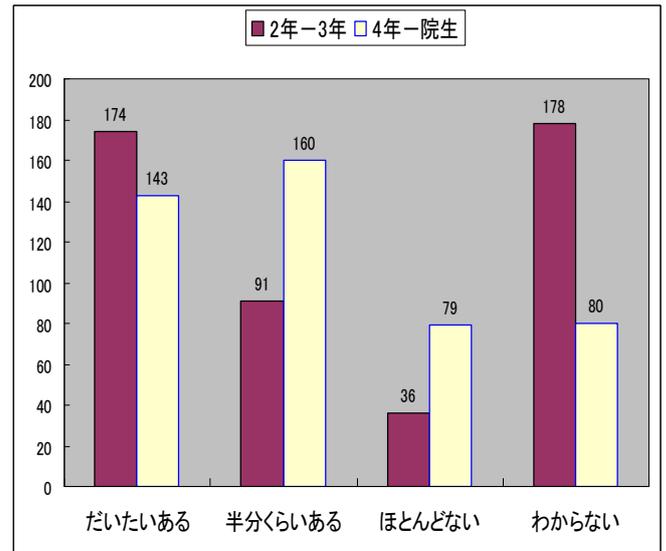
3. 図書館の資料について

問4 あなたが必要とする資料は、図書館にありますか。

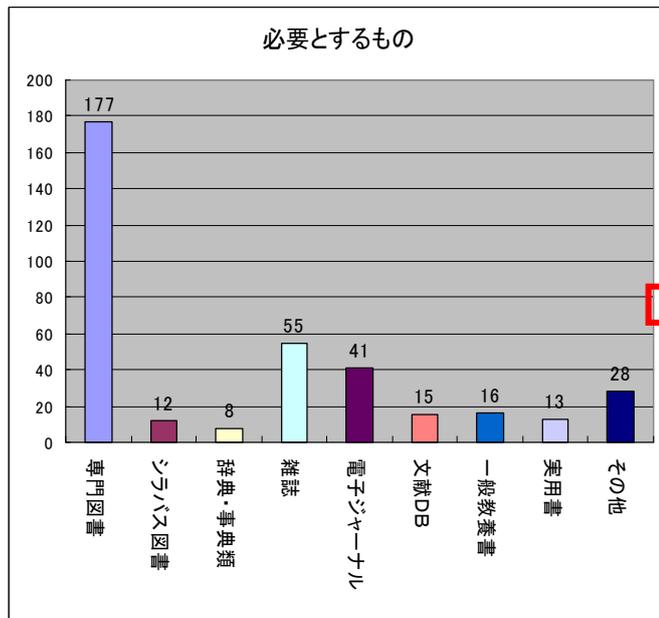
全体



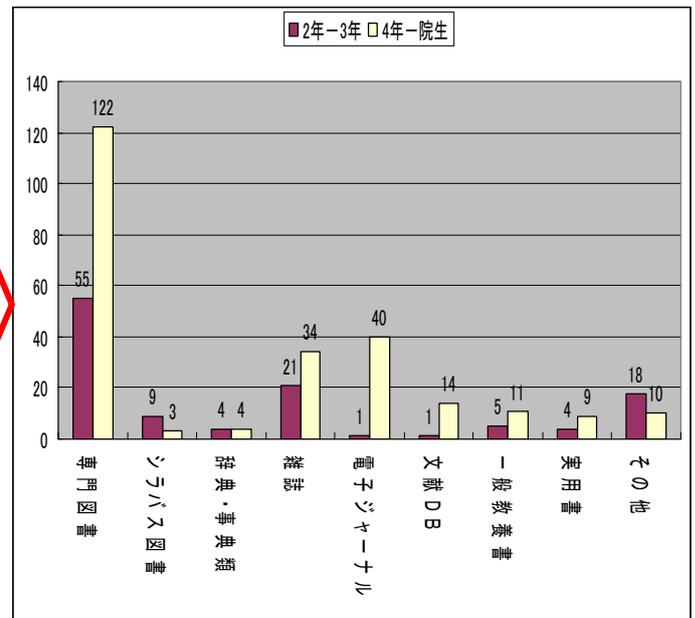
2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合



半分くらいある、ほとんどないの内訳



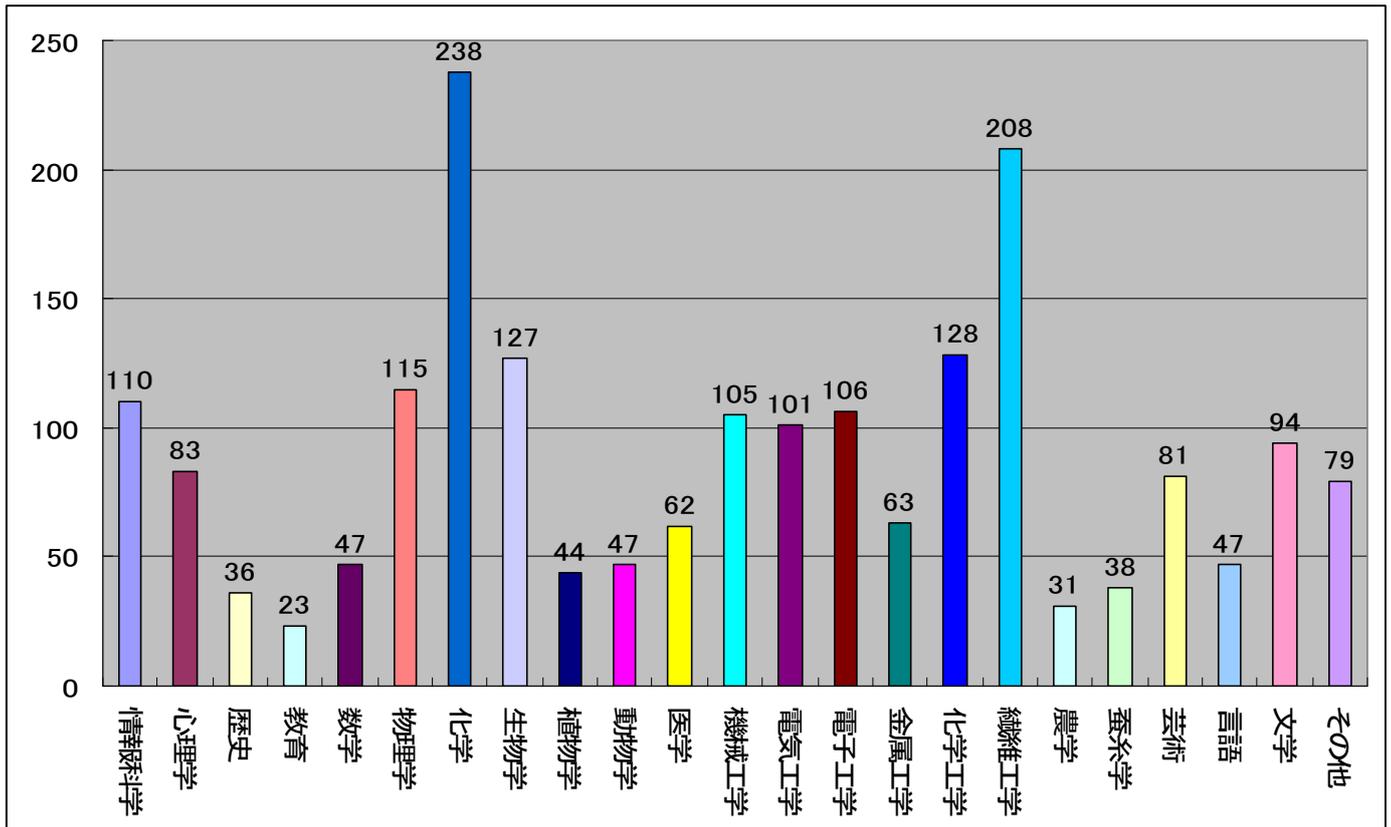
2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合



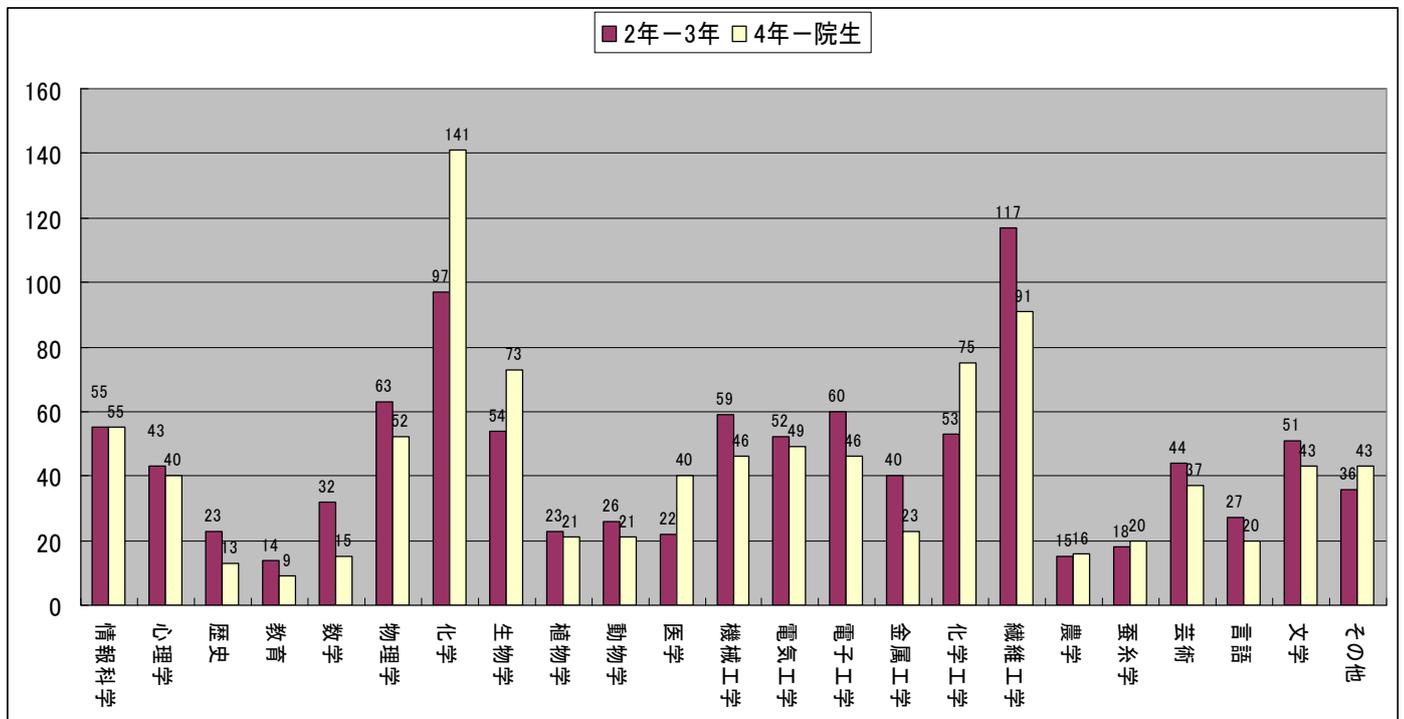
3. 図書館の資料について

問5 より充実すべきだと思う図書資料の分野を教えてください。(複数回答可)

全体



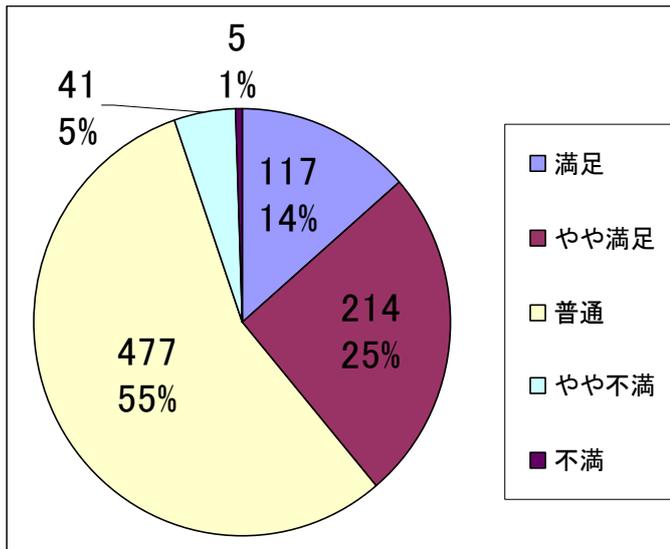
2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合



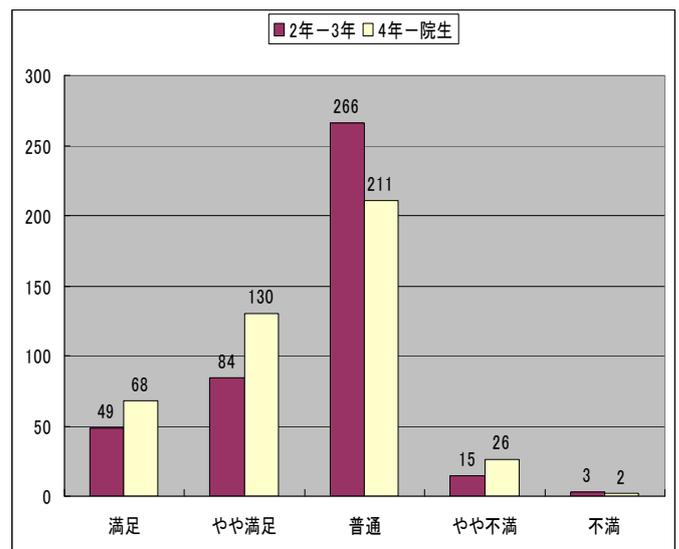
4. 図書館のサービス、施設について（満足度を5段階で評価して下さい）

図書館蔵書検索（OPAC）について

全体

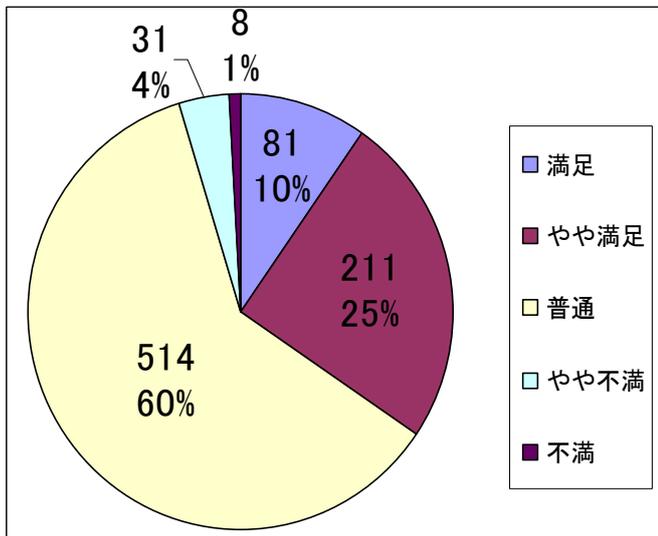


2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合

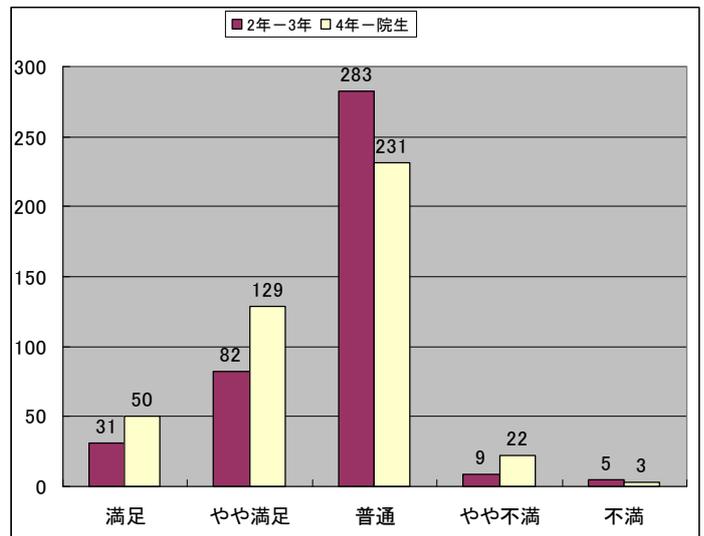


文献データベースについて

全体

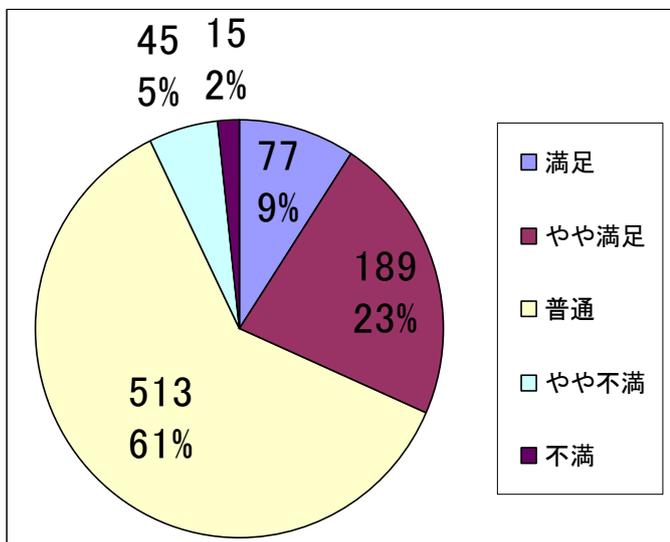


2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合

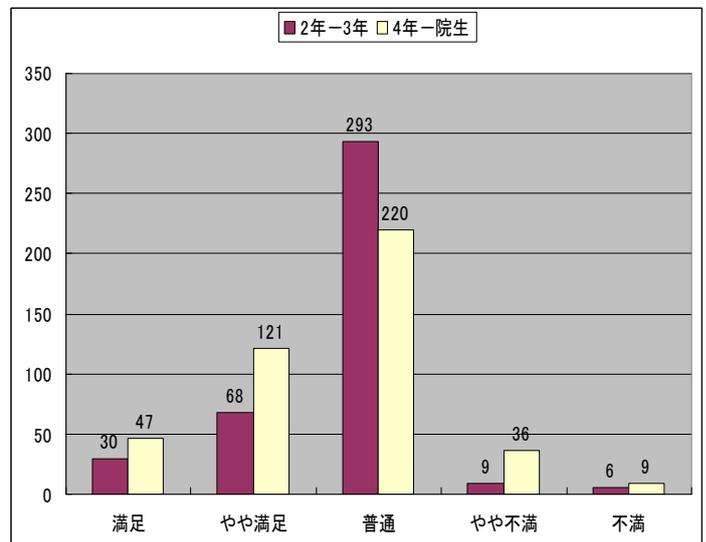


電子ジャーナルについて

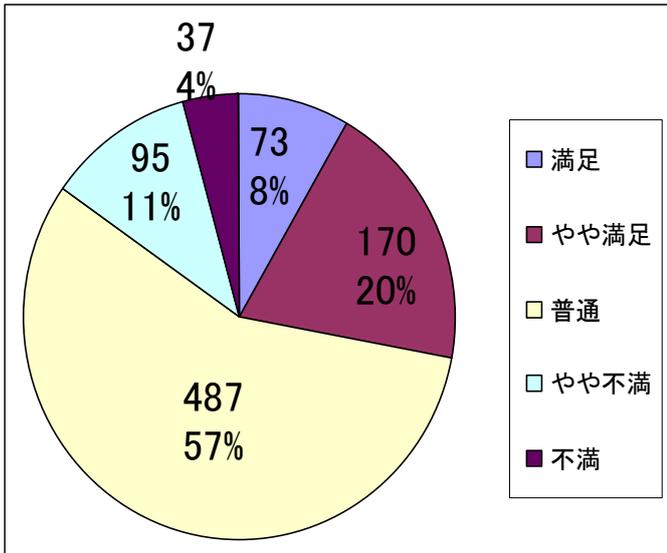
全体



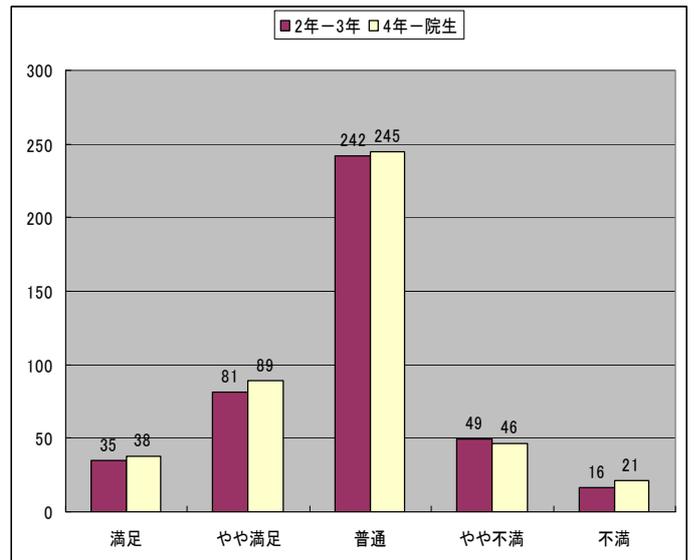
2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合



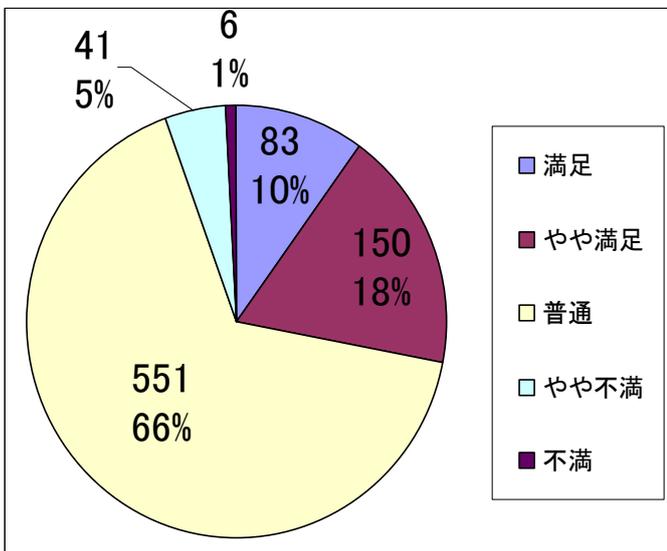
図書館備付パソコンについて
全体



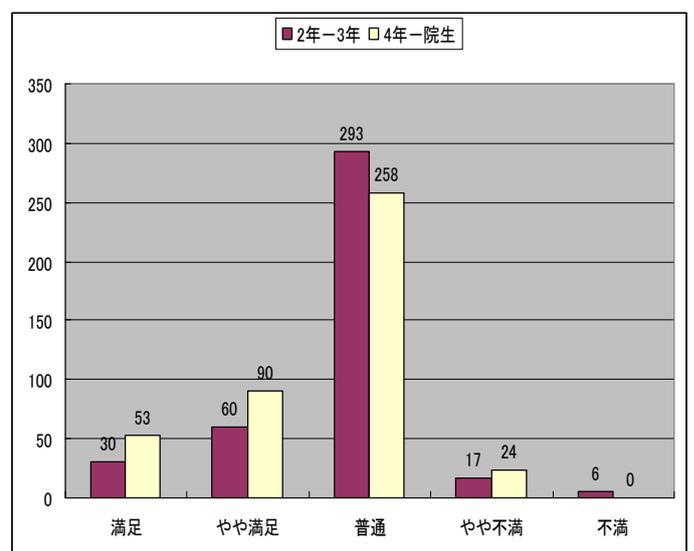
2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合



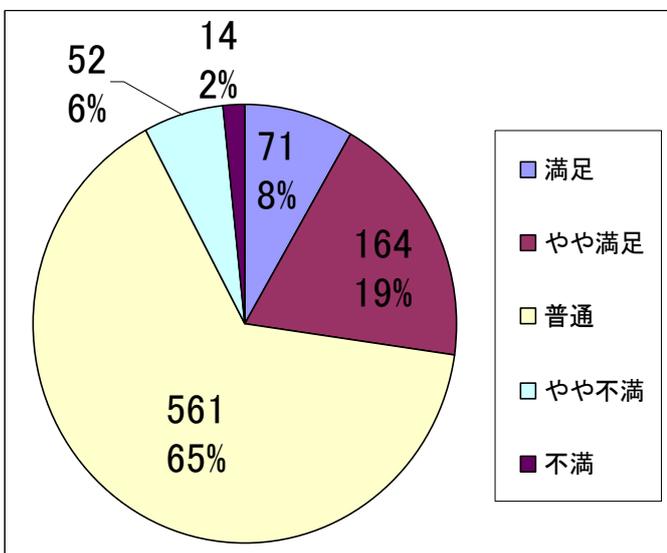
文献複写・図書の取寄せについて
全体



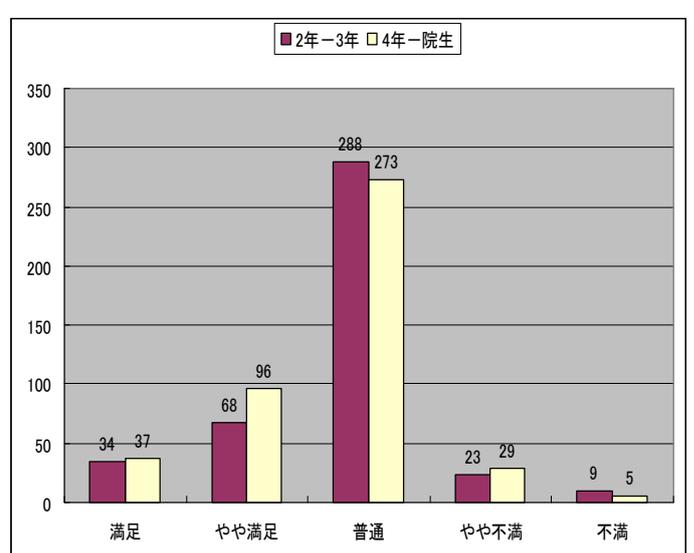
2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合



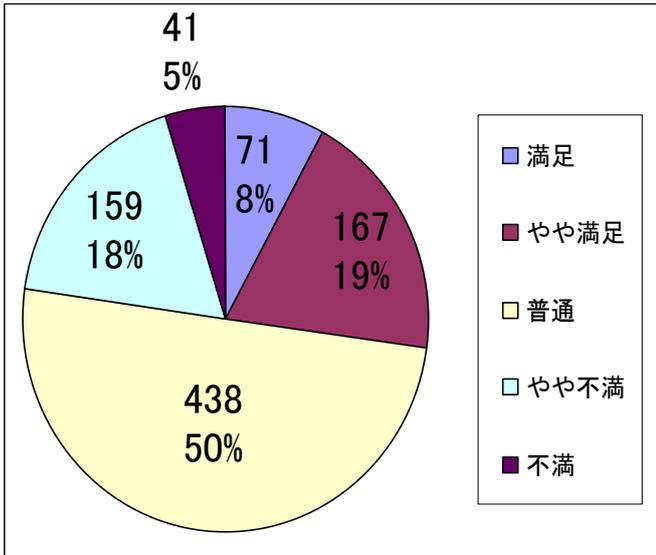
図書資料の配置・配架について
全体



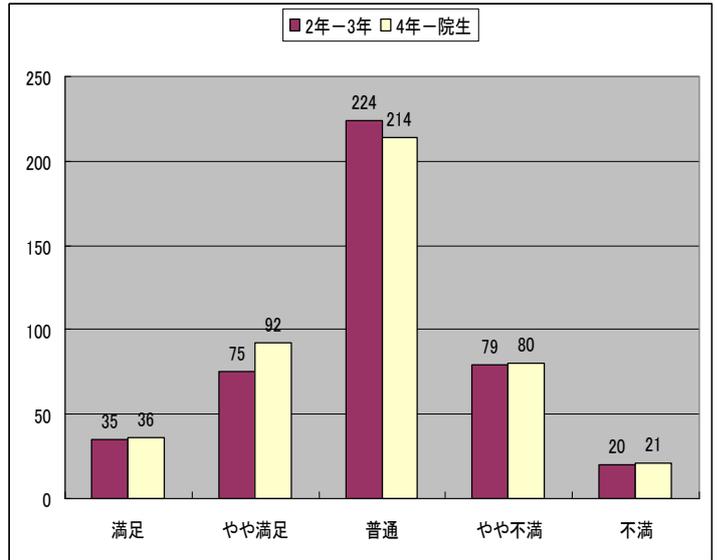
2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合



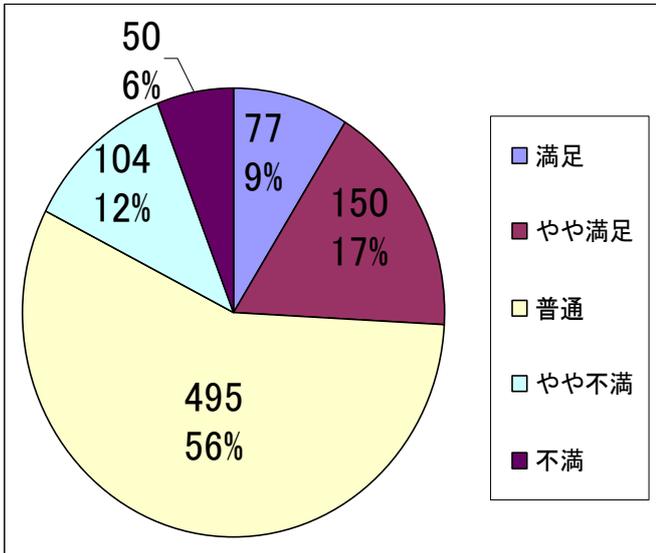
照明について
全体



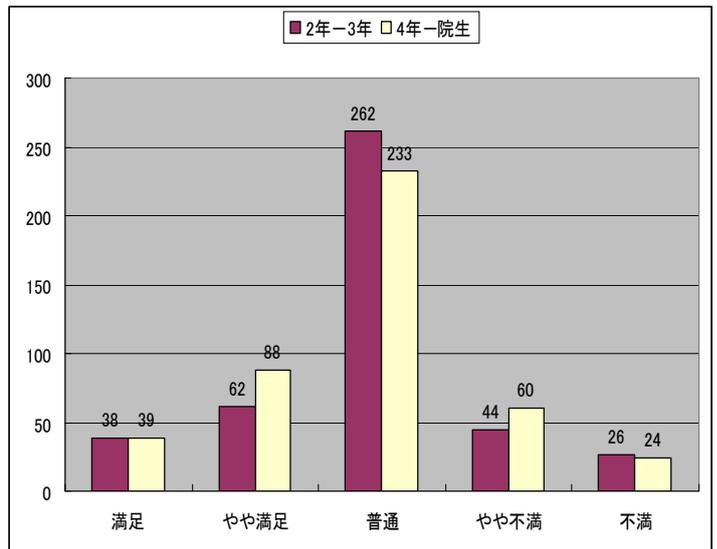
2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合



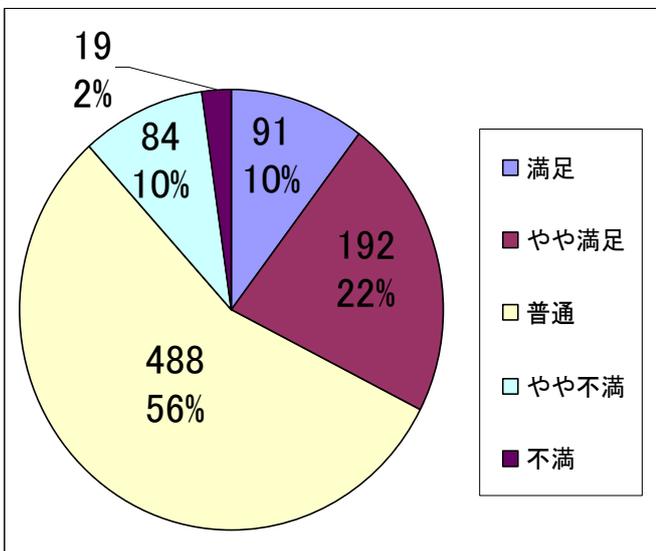
冷暖房について
全体



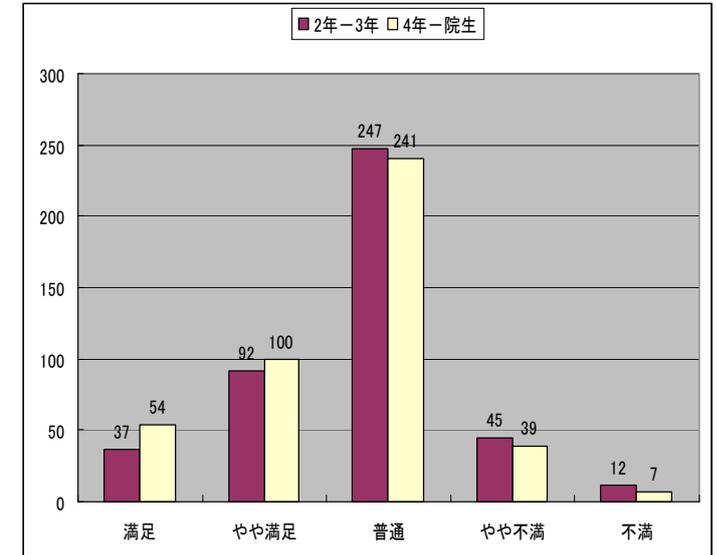
2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合



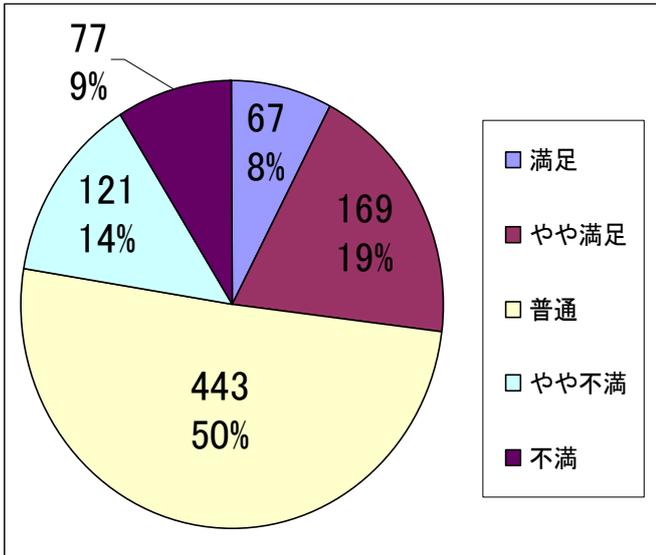
机・イスについて
全体



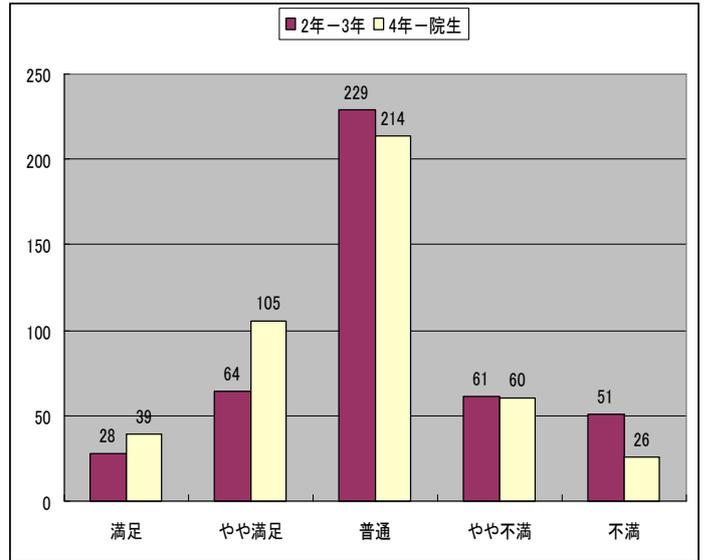
2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合



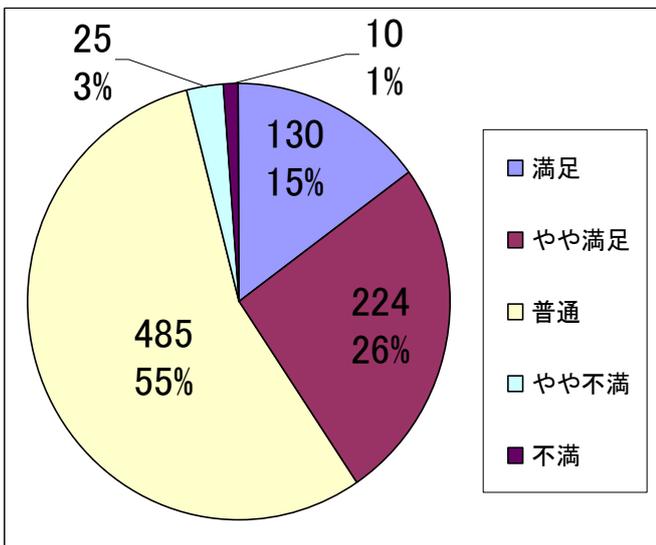
開館時間について
全体



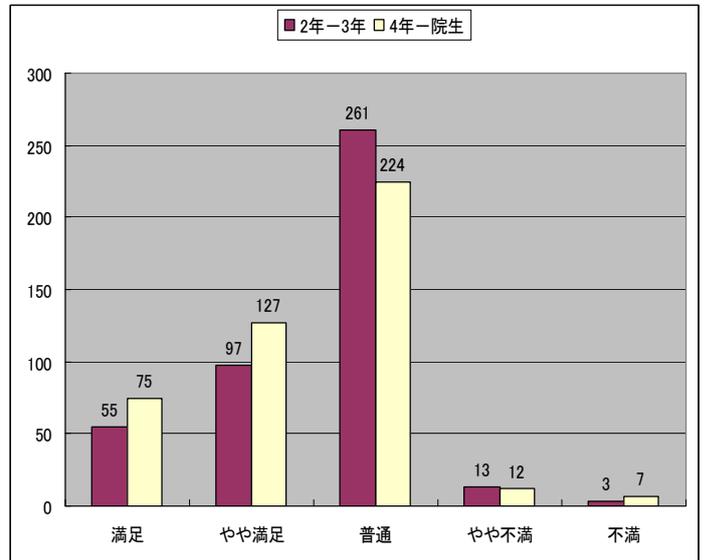
2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合



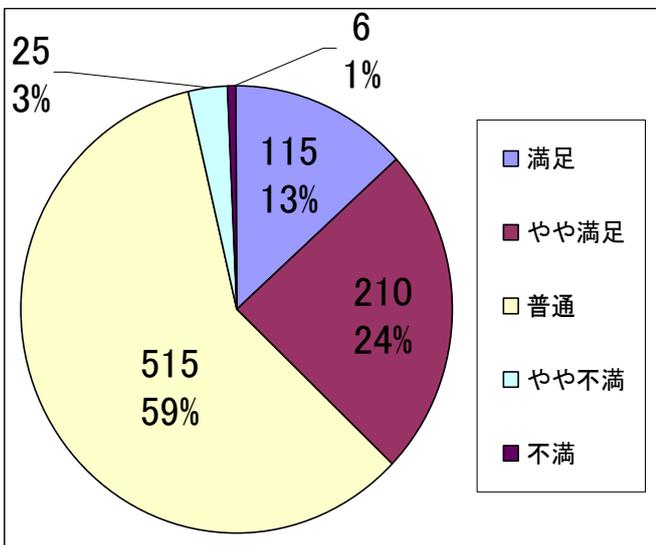
図書館職員の対応について
全体



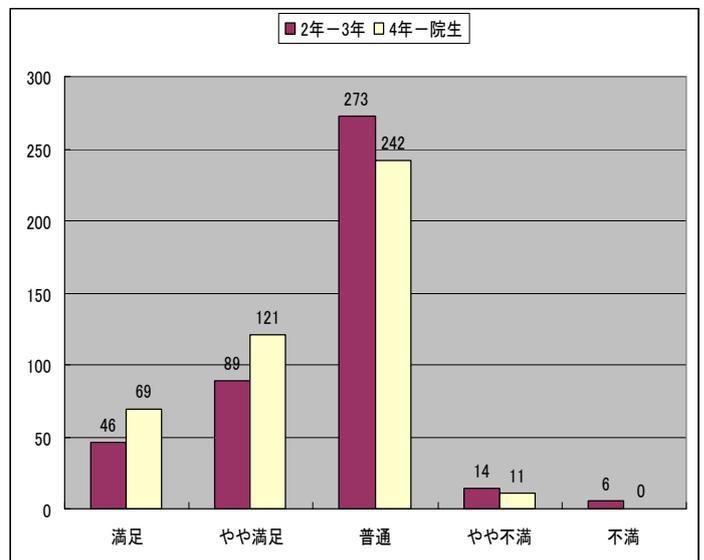
2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合



図書の貸出冊数について
全体



2年～3年生、4年～院生他 に分けた場合



著者（编者）	書名	出版社	出版年	備考
Natalie Gold（編集）	Teamwork : multi-disciplinary perspectives	Palgrave Macmillan	2005	（シス）松村嘉之先生
Masoud Mohammadian, Ruhul Amin, Xin Yao（著，編集）	Computational Intelligence in Control	Idea Group Pub	2002	（シス）松村嘉之先生
上田完次（編著）：	創発とマルチエージェントシステム(9月中旬発刊)	培風館	2007.9	（シス）松村嘉之先生
永井一清	気体分離膜・透過膜・バリア膜の最新技術	シーエムシー出版	2007	（素材）平田雄一先生
東崎昭弘、高橋伸英	理工系大学生のための専門基礎数学講義と演習	（有）鈴木コーポレーション	2005	（精密）高橋伸英先生
日本セラミックス協会編	燃料電池材料	日刊工業新聞社	2007	（精密）杉本 渉先生
辰巳 国昭 他著	電池革新が拓く次世代電源	エヌ・ティー・エス	2006	（精密）杉本 渉先生
西野 敦、直井勝彦 監修	大容量キャパシタ技術と材料 III	シーエムシー出版	2006	（精密）杉本 渉先生
山本良一監修	エコマテリアルハンドブック	丸善	2006	（精密）杉本 渉先生
黒田一幸、佐々木高義 監修	無機ナノシートの科学と応用	シーエムシー出版	2005	（精密）杉本 渉先生
高須芳雄，吉武 優，石原達己 編集	燃料電池の解析手法	化学同人	2005	（精密）杉本 渉先生
直井勝彦、西野 敦 森本 剛 監修	電気化学キャパシタ小辞典	エヌ・ティー・エス	2004	（精密）杉本 渉先生
日本表面科学会編	新訂版 表面科学の基礎と応用	エヌ・ティー・エス	2004	（精密）杉本 渉先生
西野 敦、直井勝彦 監修	大容量キャパシタ技術と材料 II	シーエムシー出版	2003	（精密）杉本 渉先生
田村英雄監修 内田裕之，池田宏之助，岩倉千秋，高須芳雄編著	固体高分子形燃料電池のすべて	エヌ・ティー・エス	2003	（精密）杉本 渉先生
川合知二監修	ナノテクノロジー大事典	工業調査会	2003	（精密）杉本 渉先生

著者（编者）	書名	出版社	出版年	備考
北海道自然エネルギー研究会編著	環境を守るための自然エネルギー読本	東洋書店	2002	(精密)杉本 渉先生
本間琢也監修	図解 燃料電池のすべて	工業調査会	2003	(精密)杉本 渉先生
田村英雄監修 松田好晴、高須芳雄、森田昌行編著	大容量電気二重層キャパシタの最前線	エヌ・ティー・エス	2002	(精密)杉本 渉先生
高須芳雄、荒又明子、堀 善夫 編著	電極触媒科学の新展開	北海道大学図書刊行会	2001	(精密)杉本 渉先生
直井勝彦、西野敦 森本 剛 監訳 代表	電気化学キャパシタ-基礎・材料・応用-	エヌ・ティー・エス	2001	(精密)杉本 渉先生
Tetsuo Soga	Nanostructured Materials for Solar Energy Conversion	Elsevier Science Ltd	2007	(精密)森 正悟先生
下村政嗣他編	自己組織化ナノマテリアル	フロンティア出版	2007	(機高)英 謙二先生
加藤 隆史監修	バイオミネラリゼーションとそれに倣う新機能材料の創製	シーエムシー出版	2007(Jan)	(機高)英 謙二先生
	“ファイバー”スーパーバイオミネテックス	N T S	2006	(機高)英 謙二先生
	環状・筒状超分子新素材の応用技術	シーエムシー出版	2006(Jan)	(機高)英 謙二先生
	ファイバー工学	丸善株式会社	2005	(機高)英 謙二先生
	第5版実験化学講座26	丸善株式会社	2005	(機高)英 謙二先生
国武 豊喜監修	ナノマテリアル・ハンドブック	株式会社エヌ・ティー・エス	2005	(機高)英 謙二先生
	Electrochemical Aspects of Ionic liquids	Wiley	2005	(機高)英 謙二先生
西 敏夫監修	ソフトマテリアルの新展開	シーエムシー出版	2004	(機高)英 謙二先生
赤池敏宏他編	ナノファイバーテクノロジーを用いた高度産業発掘戦略	シーエムシー出版	2004	(機高)英 謙二先生
柴山充弘他	高分子ゲルの最新動向	シーエムシー出版	2004	(機高)英 謙二先生

著者（编者）	書名	出版社	出版年	備考
Ueyama, N. Harada, A.	Macromolecular Nanostructured Materials	Kodansha Springer	2004	(機高)英 謙二先生
小石眞純監修	機能性微粒子とナノマテリアルの開発	フロンティア出版	2004	(機高)英 謙二先生
国武豊喜他編	Precision Polymers and Nano-Organized Systems	Kodansha	2000	(機高)英 謙二先生
長田 義仁他編	ゲルハンドブック	株式会社エヌ・ティー・エス	1997	(機高)英 謙二先生
日本化学会	現代界面コロイド化学の基礎	丸善(株)	1997	(機高)英 謙二先生
	PHTHLANOCYANINES 2; Properties and Applications	VCH	1993	(機高)英 謙二先生
谷口彬雄編著	有機トランジスター	ぶんしん出版	2007	(機高)谷口彬雄先生
谷口彬雄編著	現場から見た燃料電池の展望と有機材料の役割	ぶんしん出版	2006	(機高)谷口彬雄先生
谷口彬雄編著	プリンタブルエレクトロニクス	ぶんしん出版	2005	(機高)谷口彬雄先生
谷口彬雄編著	有機エレクトロニクス材料がつなぐ5つのT	ぶんしん出版	2003	(機高)谷口彬雄先生
谷口彬雄編著	有機半導体の応用展開	シーエムシー出版	2003	(機高)谷口彬雄先生
谷口彬雄編著	有機半導体エレクトロニクス	ぶんしん出版	2002	(機高)谷口彬雄先生
谷口彬雄, 小山俊樹, 市川結	高分子電子化学	ぶんしん出版	2001	(機高)谷口彬雄先生
谷口彬雄編著	21世紀の情報技術産業を支える有機エレクトロニクス材料	ぶんしん出版	2001	(機高)谷口彬雄先生
本宮達也	”ファイバー”スーパーバイオメテイクス～近未来の新技术創成～	N T S	2006	(機高)小山俊樹先生
Zeng, Xianyi, Li, Yi, Ruan, Da, Koehl, Ludovi	Computational Textile Series: Studies in Computational Intelligence, Vol.55	Springer		(感性)乾 滋先生

2008年 購読外国雑誌(冊子体)一覧

- ・冊子体で購読している外国雑誌一覧です。
- ・所蔵巻号の詳細は、OPACでご確認ください。

	誌名	ISSN	配架場所
A	AATCC Review	15328813	図書館
C	Cell	00928674	図書館
	Chemical communications,chem comm	13597345	図書館
	Chemical reviews	00092665	図書館
E	Ergonomics	00140139	図書館
	European journal of cognitive psychology	09541446	図書館
I	IEEE computer graphics and applications	02721716	図書館
	IEEE robotics & automation magazine	10709932	図書館
	IEEE signal processing letters	10709908	図書館
	IEEE transactions on biomedical engineering	00189294	図書館
	IEEE instrumentation and measurement magazine	10946969	図書館
	IEEE Transactions on instrumentation and measurement	00189456	図書館
	IEEE transactions on pattern analysis and machine intelligence	01628828	図書館
	IEEE transactions on robotics	15523098	図書館
	IEEE transactions on signal processing	1053587X	図書館
	IEEE transactions on systems, man and cybernetics. Part A, Systems and humans	10834427	図書館
	IEEE transactions on systems, man and cybernetics. Part B, Cybernetics	10834419	図書館
	IEEE transactions on systems, man, and cybernetics. Part C, Applications and reviews	10946977	図書館
	IEEE/ASME transactions on mechatronics	10834435	図書館
	International journal of computer vision	09205691	感性
J	Journal of bacteriology	00219193	図書館
	The journal of biological chemistry	00219258	図書館
	Journal of materials chemistry	09599428	機高→図書館
	Journal of organic chemistry	00223263	図書館
	Journal of physical chemistry. A	10895639	図書館
	Journal of physical chemistry. B	15206106	図書館
	Journal of physical chemistry. C	19327447	図書館
	Journal of the American Chemical Society	00027863	図書館
	The journal of the Textile Institute / the Textile Institute	00405000	図書館

	誌名	ISSN	配架場所
L	Langmuir	07437463	図書館
M	Macromolecules	00249297	図書館
	Measurement science & technology	09570233	図書館
	Melliand textilberichte = International textile reports – German incl. yellow English translation	09319735	図書館
	Molecular Cell	10972765	図書館
P	Plant physiology	00320889	図書館
	The Plant cell	10404651	図書館
	Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	00278424	図書館
T	Textile : la revue du textile : the textile journal	00085170	図書館
	Textile horizons	13536184	図書館
	Textile progress	00405167	図書館
	Textile research journal	00405175	図書館
	Textiles magazine	13671308	図書館
	Transactions of the ASME. Journal of dynamic systems, measurement and control	00220434	図書館
	Transactions of the ASME. Journal of engineering materials and technology	00944289	図書館
	Transactions of the ASME. Journal of fluids engineering	00982202	図書館
	Transactions of the ASME. Journal of manufacturing science and engineering	10871357	図書館
	Transactions of the ASME. Journal of tribology	07424787	図書館
	Transactions of the ASME. Journal of vibration and acoustics	10489002	図書館
	Transactions of the ASME. Ser. C, Journal of heat transfer	00221481	機械→図書館
	Transactions of the ASME. Ser. E, Journal of applied mechanics	00218936	図書館
	Transactions of the ASME. Ser. K, Journal of biomechanical engineering	01480731	図書館

告知板

ここでは図書館からの最新の情報をお知らせしています。

次号発行までのお知らせは、繊維学部図書館ホームページ

(<http://www-lib.shinshu-u.ac.jp/seni/>) をご覧ください。

⇒ 春季休業中の開館日程について

* 4月9日(水)から、通常通り開館いたします。

期間：2008年2月1日(金) ～2008年4月8日(火)	
平日	9:00 ～ 17:00
土日祝日	休館

⇒ 「自動貸出装置」を導入しました

* 図書館カウンター横に“自動貸出装置”を設置しました。

ご利用いただけるのは『貸出』のみで、『返却』はできません。返却については、従来通りカウンターへお願いします。閉館時は、図書館入口のブックポストへ投函してください。

⇒ 人事異動

* 長年、繊維学部図書館のためにご尽力いただきました内海主査が、工学部図書館へ異動することになりました。4月からは新たに岩波主査を迎え、より一層のサービス向上に努めてまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

(H19.4月～H20.3月)

H19. 5/18	図書委員会(第1回)
H19. 6/ 5	全学図書関係主査会議(第1回)
H19. 6/19	附属図書館館長会議(第1回)
H19. 6/26	附属図書館館長会議(第2回メール審議)
H19. 7/10	図書委員会(第2回)
H19. 8/ 8	附属図書館館長会議(第3回メール審議)
H19. 8/27	
- 8/31	図書館蔵書点検
H19.12/12	図書委員会(第3回)
H20. 2/15	図書委員会(第4回)
H20. 3/17	全学図書関係主査会議(第2回)

編集後記

振り返れば、今年も一年あっという間でした。
年度当初は、『よ～し、今年こそは!』と張り切って目標をたてるものの、終わってみると『こんなはずじゃなかった…。』と思うことばかり。
ある朝、目が覚めたら“目標達成!”なんて虫のいい話はないわけで、日々の積み重ねがあってこそ…の“目標達成!”ですよね。
一年後も、そして十年後も“毎日”の延長線上にあるということ、忘れないようにしなくては! さあ、2008年“春”のスタートです。

今回は、平林公男先生にご寄稿いただきました。
「ユスリカ」という昆虫についての『Q&A集』です。雑誌「オレンジページ」に掲載された内容を元にまとめていただきました。今回のLibrary(p.14)で紹介しました『本学部教員著書コーナー』にも先生が執筆された「ユスリカの世界/培風館」という本が配架してあります。この機会にぜひご利用下さい。

最後になりましたが、貴重なお時間を割いて原稿をまとめて下さいました平林先生に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

「Library」では、利用者の皆様の声も掲載していきたいと思っております。ご意見・書評など何でも結構です。係員に直接、またはE-mail宛にお寄せください。

E-mail アドレス: jfg0100@shinshu-u.ac.jp